

日本基督教団 八ヶ岳伝道所 主日礼拝 NO.1144 2020年11月1日

牧師 山本護 奏楽 山本恵美 第一部礼拝 司式 斎藤 美沙子 9:30~10:30
 ※讃美は二番まで歌います 第二部礼拝 司式 青柳 均 11:00~12:00

前	奏	黙想	讃美歌	308	いのりは口より
讃美歌	74	はてしも知られぬ	献金		
祈	禱		讃詠	547	いまささぐるそなえものを
聖	書	ルツ記 1:18~22	黙禱		
		ヨハネの手紙一 1:7~9	主の祈り	564	
讃美歌	310	しずけきいのりの	頌栄	541	父、み子、みたまの
説教		『呪いも祈りの言葉になる』	祝禱		
祈	禱		後奏		※信仰告白は当面のあいだ省略します

ナオミが嫁ルツを伴ってベツレヘムに帰郷すると、「町中が二人のことでどよめき、女たちが、ナオミさんではありませんかと声をかけた(ルツ 1:19)。「どよめく」とは「喜び祝う」という意味(列王上 1:45)。故郷を出てもう 30 年も経っているのに、女たちは存在の根拠である名を呼んで歓迎した。ところがナオミは、怒りを含んで悲観的に応える(ルツ 1:20~21)。飢饉(1:1)、異郷での夫との死別(1:3)、女手ひとつで育てた二人の息子との死別(1:5)。ナオミは悲しみや苦しみに黙々と耐えて来たが、歓迎され、硬化していた自己が緩むと、押さえていた憤りが一気に表出した。「どうか、ナオミ(快い)などと呼ばないで、マラ(苦い)と呼んでください(1:20)」。ナオミではなく、マラこそが自分の実体なのだ、と。

「全能者がわたしをひどい目に遭わせた(1:20)」、「主がわたしを悩ませ、全能者がわたしを不幸におとされた(1:21)」という呪いの言葉は衝撃だ。ナオミは憤懣のあまりに、口にしてはいけない言葉を吐いたのだろうか。いったい祈りには、整った言葉だけがふさわしいのだろうか。ヨブの呪いはどうだったか(ヨブ 3:3~26)、預言者エレミヤの嘆きはどうだったか(エレミヤ 15:10~11)。そしてまたイエスでさえ、十字架で「わが神、わが神、なぜわたしを見捨てるのだ(マルコ 15:34)」と叫んだではないか。

祈りは美辞麗句とは限らない。神の御前で、褒められるようなことを表明するわけではない。唇をぐっと噛んで現実に耐えることは立派だが、神の前では節度を保つ必要はない。敬虔や、善意や、聖性さえも、偽りを含んでいれば退けられる。神の前で、人には見せられない、自分でも見たくない赤裸々な姿を、崩れながらも表すこと。それが誠実な祈りだ。ナオミの呪いは、祈りに似ている。

かつて故郷は飢饉だったが(ルツ 1:1)、「主がその民を顧み、食べ物をお与えになり(1:6)」、「二人がベツレヘムに着いたのは大麦の刈り入れの始まるころであった(1:22)」。「ナオミは夫と二人の息子に先立たれ、一人残された(1:5)」が、女たちは「ナオミ」という名の「姉妹」を忘れず迎えてくれた(1:19)。そして「自分の民、自分の神」のもとに帰るよう強く勧めた嫁ルツ(1:15)の労働で(2:17)、ナオミの暮らしは成り立った(2:18)。すると「ナオミは嫁に言った。[どうか、生きている人にも死んだ人にも慈しみを惜しまれない主が、その人を祝福してくださるように] (2:20)」。呪った神を、今は讃えた。

自然環境においても人間関係においても、私たちは隅々まで顧みられている(1:6)。その顧みを信じるキリスト者は、聖霊の風に応答して馴染んだ状況をも手離す(1:7)。ナオミにとって故郷ベツレヘムは「神の御前」だった。御前にあっては体裁や矜持を保つ必要がなく、彼女は「主に悩まされ、全能者に不幸に落とされた(1:21)」と呪った。神の前で偽りは許されないが、神を呪うがごとくの「甘え」は許される。そのように祈ると、私たちの虚飾や手柄話はスーッと消えて、奥底から自由にされる。

「自分の罪を公に言い表すなら、神は真実で正しい方ですから、罪を赦し、あらゆる不義からわたしたちを清めてくださる(イヨネ 1:9)」。神を呪いながらも自分を明らかにし、己が罪を公に言い表す。神の御前で、私たちは崩れながら自由にされ、イエスの十字架の血によって清められる(1:7)。

世の波風にもまれて 随分頑丈な鎧を身につけてしまっている 幼き日 鎧をつけ始めた感触をうっすらと憶えている キリストと出会い 鎧を少しずつ脱ぎ始めた感触は さほど遠い昔ではない

本日礼拝後は役員会があります。11/14(土)1:30~3:00 聖書研究会。牧師の動き:11/4YMCA で聖研。お願い:山梨ダルクで米が不足しています。去年の米でもいいので、少しでも寄贈お願いします。

礼拝堂・集会所の住所: 408-0012 山梨県北杜市高根町箕輪 2265-3

連絡・問い合わせは牧師へ: 408-0205 北杜市明野町浅尾新田 1324 TEL 0551-25-4008

メール komechan.olive@orange.zero.jp HP は「日本基督教団八ヶ岳伝道所」で検索して下さい。